

第12回 遠山藤原学校

—長野県最南部の遠山郷で、藤原直哉と21世紀的ライフスタイルを学ぶ—

特集：遠山郷で里山に遊ぶ2日間 —8月末：遠山郷の夏祭り—

(8月9日一部修正版)



研修日程：2010年8月28日（土）・29日（日）の2日間

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

研修協力：遠山郷観光協会

< 1、研修の内容 >

このたびは、第 12 回遠山藤原学校の資料請求をしていただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山郷の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、人と自然の本物の共生を体験したい人には、絶対お勧めの地域です。

さらに遠山郷は人情の里でもあります。遠山郷の人たちはとても人情味溢れた人たちで、特に都会の人たちとの交流が大好きです。そのため山村にありがちな閉鎖的で暗い雰囲気ではなくて、底抜けに明るくて建設的な雰囲気を、ここを訪れるみなさんに感じていただくことができます。特にこの研修では夜の懇親会に地元の有志をお招きして、共に食卓を囲み、お酒をいただき、楽しく交流していただきます。そうした心のふれあいがとても自然に、とても楽しく毎回行われるのも、人情の里、遠山郷の非常に大きな魅力です。

3年前から始まった遠山藤原学校は毎年、参加者が増えていまして、今年は3月から12月までの毎月開催となりました。そして今年のテーマは「遠山郷の里山に遊ぶ2日間」です。里山というのは、人が住む里と、人が行かない深山の間にある山のことで、里に暮らす人たちの生活のために手を入れられている山のことで、里山では人と動物、自然が共生していて、本当に日本の原風景とも言えるような姿がそこにはあります。特に戦後の近代化のなかで全国各地の里山が荒廃し、自然の生態系や人との共生生活が崩れてしまった場所が多く、遠山郷も例外ではありません。既に限界集落になっている場所も多い遠山郷では、我々のように外から来た人たちも手伝って、何とか里山を復活し、遠山郷にかつての賑わいを取り戻そうという動きが本格化しつつあります。そこで今回の研修では里山の魅力をみなさんに味わっていただき、里山を中心にした日本の原風景を堪能していただきます。そして2日目の午後には現地で、藤原直哉が「遠山郷の未来を創るため」というタイトルで講演を致します。

ちなみに、今年12月までの毎月の予定は以下のようになっています（見学や体験の内容は地元、講師の事情や天候によって変更の可能性あり）。すべて土日です。

9月25・26日：遠山郷の遠足

遠山郷および飯田・下伊那地方の歴史的・民族的・景観的に興味深いポイントを訪問
+畑作業+もしできれば、南アルプスの雄大な景色を眺めながら焼肉パーティー
+藤原直哉講演「乱世の生き方・気持ちの持ち方」

10月30・31日：遠山郷・秋の芸術祭

遠山郷の写真教室（水野秀彦氏、できれば紅葉の盛りの遠山川の源流を便ヶ島まで入ります）
+ 遠山郷のジャズコンサート+畑作業+藤原直哉講演「藤原直哉の精神世界」

11月27・28日：遠山郷の秘境、青崩峠を訪ねる

晩秋の青崩峠をハイキング+遠山郷ミニ観光+畑作業+藤原直哉講演「2011年を考える」

12月4・5日（仮）：遠山郷の霜月祭り

遠山郷の祭り、国の重要無形民俗文化財・熊野神社の霜月祭りに参加

以下、体験研修の概要をご紹介します。

まず、1日目は12時20分に、遠山郷の中心、和田地区にあります国道152号線沿いの道の駅「遠山郷」内の、アンバマイ館という遠山郷観光協会の施設に集合していただきます。ここまで電車でお越しの方は、JR飯田線の平岡駅からスタッフが車でお迎えいたします。なお当日東京からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋で飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。

ここで「アンバマイ館」という名前の由来ですが、「あんばまいか」というこの地方の方言からとったもので、「遊びましょう」という意味です。方言には標準語にはない温かみがあります。また遠山郷では方言で、よく語尾に「だに」をつけます。地元の方と話をすると必ずといていいほど聞くことができる方言です。

今回の研修ではアンバマイ館に集合していただいてからみなさんに自己紹介をしていただきます。それから地元の若者が経営するレストラン食楽工房 元家(げんや)にてお昼ご飯をいただきます。このレストランは地元の元気な若者が経営しているレストランで、地元の食材を生かした創作料理を多数つくっています。遠山郷で最近注目の場所でもあります。

そして昼食後は八重河内(やえごうち)地区にある陶芸館で、遠山焼の陶芸を体験していただきます。なぜ遠山焼なのですかとご主人に問うと、遠山で焼いて遠山で売っているからだという答えが返ってきます。何かすごく素朴で気持ちがふわっと明るくなるお話です。陶芸館では郷土色豊かなさまざまな焼き物を製造販売していますが、今回は誰でも体験できる陶芸として湯飲みを作ってください、後日焼き上がったものを宅急便でご指定の場所までお送りさせていただきます。遠山郷で土をこねて湯飲みを作り、それを生活の一部にする。まさに21世紀的な生活のあり方だと思います。

その後、午後3時には和田地区にある今日のお宿、「かぐら山荘」にチェックインします。ここは平成18年にオープンしたきれいなペンションで、商用、登山、溪流釣り、観光など、さまざまな方に人気があります。そして、午後3時半ごろから和田地区の夏のお祭り、御射山祭り(みさやままつり)に参加します。御射山祭りは同じ地区にある諏訪神社の祭礼で、諏訪市にある諏訪大社の流れをくんだお祭りです。全国の諏訪神社の本宮である諏訪大社では、鎌倉時代から上社・下社それぞれに御射山祭が行なわれていました。旧暦の7月下旬、八ヶ岳山麓で巻狩、草鹿射ち、相撲などの武芸が行なわれたほか、里宮では御霊会風の行列が練り歩きました。霧ヶ峰高原の西北の「旧御射山」と呼ばれる場所には、下社の御射山祭の舞台となった巨大な土壇(コロシアム)の遺跡が残っています。この土壇には将軍や北条氏のほか、鎌倉幕府のそうそうたる武将が棧敷を連ねていました。北条氏は信濃にも多くの領地を持ち、諏訪神への崇敬を厚くしていました。こうしたこともあり、御射山祭は幕府の下知によって信濃国内に領地をもつ御家人すべてが回り番で費用を負担しました。祭りは武将ばかりでなく一般民衆にも見物が許され、身分の上下を問わない全国規模の大イベントだったのです。下社の御射山祭りは、室町時代に下社大祝(おおほうり、神職の最高職)の金刺氏が上社によって滅ぼされてからは衰退しましたが、祭典に集まった武士たちによって御射山祭の風習は全国に広められ、「ミサヤマ」と呼ばれる地名や神社が現在でも各地に残っています。

お祭りでは町内会ごとにおみこしが出ます。今回は地元の方のご厚意で遠山藤原学校の参加者も各地区に分かれてお祭りに参加させていただきます。どうぞ歴史のあるお祭りで地元の方々とともに夏の終わりの夕方を存分に交流し、満喫してください。夕食はお祭りに加わっていただく町内会ごとにお祭りのお食事が出ますので、どうぞたくさん召し上がってください。そして午後7時からいよいよ御射山祭りの夜の部、花火大会が始まります。この花火大会は遠山谷の狭い谷底から細く切り取られた空に向かって真上に打ち上げる花火が特徴で、音が両側の山に反射して非常に迫力があり、狭い谷の空いっぱいに広がる花火と轟音を心行くまでお楽しみください。遠山郷では御射山祭りが終わると秋がくると言われていて、まさにゆく夏を惜しむ人々の熱気が感じられると思います。

花火は8時半ごろ終わりますので、その後、お宿の隣にある遠山温泉郷かぐらの湯にお入りいただきます。かぐらの湯は地元に沸く温泉で、源泉温度42.5度の全国でも珍しい高濃度塩化物温泉（ナトリウム・カルシウム塩化物温泉）です。大変豪快な露天風呂もあり、今日一日の疲れを遠山の気がみなぎった温泉でゆっくりと癒してください。この地域は日本列島を東西に走る中央構造線という大断層のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所です。この温泉もそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉で、ファンが増えています。

温泉での入浴が終わってからは、ご希望の方を地元のカラオケスナック「舞夢（まいむ）」へお連れします。実は毎回、遠山藤原学校はこの二次会の舞夢が大変盛り上がるのです。参加者の皆さんが本当にリラックスして語り合い、歌う姿はとても明るく温かい雰囲気を満たされています。今回はお祭りの後ということもあって、地元の方も来てお店は満員になると思います。どうぞゆく夏を舞夢で元気にお楽しみください。

2日目は朝8時に出発します。まず和田地区の中心街、江戸時代から伝わる国道152号線・秋葉街道の宿場町、和田宿を歩いて通って、この地域を治めていた遠山氏の菩提寺、龍淵寺に行きます。そして境内に沸く観音霊水をいただきます。観音霊水は江戸時代に徳川氏に滅ぼされたこの地域の豪族、遠山氏の居城に4百年以上前から湧いているお水で、真夏や旱魃でも枯れずにいつも冷たくておいしい水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、カルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多い、すばらしい名水であることがわかり、最近では地元や近郊の方はもちろんのこと、東京や大阪から百リットルも2百リットルもお水を汲みに来る方がおられます。こういう硬水は味にクセが強いことが多いのですが、観音霊水は硬水でありながら大変口当たりがよく、特にコーヒーや紅茶にして飲むとおいしく、また日持ちが大変良いので、非常用のお水としても汲みに来る方が絶えません。また境内には樹齢5百年の観音大杉があります。これは根元が一体となった4本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。

そして観音霊水の隣にある「殿町の茶屋」に行きます。ここは地元の女性たちが経営しているお饅頭屋さんで、名物のふじ姫饅頭はその日の朝に作って売切れたら終わりという非常に人気の高いお饅頭です。遠隔地から来られる方はどうしても遠山郷に来るのが午後になってしまい、何度来ても売り切れで食べられないという幻の饅頭でもあります。よもぎとそばの2種類の饅頭が8個入って千円のふじ姫饅頭は、遠山郷の外はもちろんのこと、遠山郷のなかでもこの殿町の茶屋でしか販売されておらず、ファンが絶えません。さらにここではお店の方がお客さんにお茶やお漬物を接待してくださり、多くの方が地元のみなさんの暖かい人情に触れて感激していかれます。

それから木沢地区に向かいます。途中、小道木（こどうき）地区で遠山川の河原に下りて散策をしたいと思います。ここには河原に埋まっている埋没木があります。埋没木は今から1300年ほど前に一瞬の山崩れで埋没してしまった、当時の樹齢数百年のヒノキやケヤキの立ち木が近年露出したものです。ヒノキなどは今でもヒノキの香りが漂い、古代の木の命をそのまま感じるすることができます。さらにこの地区には、遠山郷の霜月祭りが開催される熊野神社があります。実は熊野神社の拜殿の前の地面に手をかざすと、不思議と気を感じます。それが何に由来する気かはわからないのですが、とにかく気の出る神社です。

それから遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設、旧木沢小学校に向かいます。旧木沢小学校は平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在でも残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が木沢地区活性化推進協議会という団体をつくって木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山郷の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である遠山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さら

にここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、交流会、映画の撮影などがたびたび開かれていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。そしてこの小学校のすぐ隣に遠山藤原学校の事務所があり、その隣には、遠山藤原学校観光農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、当社で募った遠山郷ボランティアと地元のみなさんが力を合わせて2年前に開いたばかりの農園で、遠山藤原学校における木沢地区の里山整備の拠点にしている場所です。今回はここで遠山藤原学校スタッフのリードで1時間半ほど、農作業実習を行っていただきます。農作業はみんなでやるととても楽しいものです。ちょうど夏野菜が本格的に育っている頃ですので、みんなで楽しく実習ができると思います。遠山郷ののどかな里山のなかに広がる観光農園で、自然と触れ合う楽しいひとときをお過ごしください。

そしてその後、南和田地区にある「天仁の杜 (てんじんのもり)」に行ってそば打ち実習を行います。ここは環境学習のための野外体験施設で、地元の方の指導のみなさんにそばを打っていただき、それを昼食とします。遠山郷ではおいしいそばが採れるので、家庭で普通にそばを打って食べるのがよくあります。どうぞ皆さんもおいしいそばを打って、遠山郷の夏を味わってください。

それから再び和田地区に戻り、南信濃自治振興センターにて、地元の方を交えながら、藤原直哉の講演、「遠山郷の未来を創るために」をお聴きください。





そして午後3時45分に同センターにて解散。お車を道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方はそれぞれ道の駅「遠山郷」、平岡駅まで車でお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり526号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に遠山郷の自然と人情、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、遠山郷の里山に遊んでいただいて、遠山郷のファンとなり、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思います。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2010年8月吉日
シンクタンク藤原事務所
経済アナリスト 藤原直哉

< 2、研修日程表 >

8月28日（土）

時間	予定	写真
12:20	集合 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:30	昼食 地元のレストラン「元屋」にて昼食	
13:10	出発 マイクロバスにて八重河内地区の陶芸館へ	
13:20	到着 陶芸実習。遠山焼の湯飲みを各自製作	
14:50	出発 お宿に向けて出発	アンバマイ館
15:00	到着 本日のお宿、かぐら山荘にチェックイン	
15:20	出発 徒歩で和田地区へ	
15:30	到着 和田地区のお祭り会場に到着、お祭り参加	
19:00	花火大会を見学	
20:30	花火大会終了。天然温泉かぐらの湯へ	
21:00	出発 お宿へ。希望者は二次会に、舞夢へ	陶芸館
	<p><u>熱中症対策のため、みなさん、</u> <u>ペットボトルあるいは水筒、そして</u> <u>風通しのよい帽子をご用意ください。</u></p> <p><u>朝晩冷えることがありますので、念の</u> <u>ため、長袖を1着お持ちください。</u></p>	 <p>熊野神社（気の出る神社）</p>  <p>龍淵寺</p>

8月29日(日)

時間	予定		写真
7:00	朝食	かぐら山荘	
8:00	出発	徒歩にて和田地区を見学。和田宿、龍淵寺、殿町の茶屋など	
9:15	出発	マイクロバスにて木沢地区へ出発	
9:50	到着	埋没木、熊野神社を見学して旧木沢小学校へ 遠山藤原学校観光農園で農作業実習	
11:40	出発	マイクロバスにて和田地区へ出発	
12:00	到着	天仁の杜へ。そば打ち実習および昼食	
14:00	出発	和田地区の南信濃自治振興センターへ	
14:10	到着		
14:30	講演	藤原直哉講演会「遠山郷の未来を創るために」	
15:45	終了 解散	列車でお越しの方は、JR 飯田線の平岡駅までお送りします。道の駅「遠山郷」にお車を駐車の方は駐車場までお送りします。豊橋方面行特急は16:42発です。	
		<p><u>2日目には農業作業をしますので、汚れてもよい作業着と軍手をお持ちください。長靴は当方で用意します。</u></p>	
			
			

かぐら山荘

殿町の茶屋

木沢小学校

天仁の杜

< 3. 研修費用 >

研修費用 大人 1名	20,000円
学生 (大学生・専門学校生以下、中学生以上) 1名	10,000円
子供 (小学生以下) 1名	5,000円
なお、お食事とお布団の事前のご用意が必要でない乳児は無料です	

(1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、かぐら山荘 〒399-1311 長野県飯田市南信濃和田 561 TEL 0260-34-5777
・ 食事料金	日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお、子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食です)
・ 講演料 ・ 研修・参加費用 ・ 温泉入浴料 ・ 遠山郷内交通費 ・ 管理料 ・ 旅行保険料	日程表に記載された藤原直哉講演会の講演料、陶芸・そば打ち・御射山祭り参加費用、温泉入浴料、研修中の遠山郷内の交通費、旧木沢小学校管理料、下記旅行保険料
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害4千万円)

(2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

< 4. 研修要領 >

募集人員	<p>20名（最小催行人数：5名） なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください （FAX または郵送でお願いします）</p>	
研修代金	<p>2010年8月20日（金）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。 郵便局 記号：10250 番号：89520371 口座名義：有限会社藤原事務所 または ゆうちょ銀行（郵便局） 店名：〇二八（ゼロ二ハチ） 店番：028 預金種目：普通預金 口座番号：8952037 口座名義：有限会社藤原事務所</p>	
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p>	
	<p>出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</p>	<p>大人1万円 学生5千円 子供2千5百円</p>
	<p>出発日の前日より起算して2週間前まで</p>	<p>参加費用の40%</p>
	<p>出発日の前々日および前日</p>	<p>参加費用の50%</p>
	<p>出発日の当日又は無連絡不参加の場合</p>	<p>参加費用の80%</p>
	<p>研修開始後</p>	<p>参加費用の100%</p>
研修主催（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所 〒250-0055 神奈川県小田原市久野849-10 電話 0465-32-1791 FAX 0465-32-1794 電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当 樋口敬子（ひぐち けいこ）</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、遠山藤原学校スタッフ用携帯電話へお願いします。090-9297-5475</u></p>	

< 5. 研修概要 >

・ 研修名称	第12回 遠山藤原学校
・ 日時	2010年8月28日(土)・8月29日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区
・ 集合・解散場所	<p>現地</p> <p>集合：28日(土) 12:20 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館 (0260-34-1071)</p> <p>解散：29日(日) 15:45 和田地区の南信濃自治振興センター (0260-34-5111)</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、遠山藤原学校スタッフ用携帯電話へお願いします。090-9297-5475</u></p>
・ 研修内容	各種見学、実習、講演など
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉

< 6. 集合・解散場所まで/からの交通手段 (ご参考) >

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」 (電話 0260-34-1071)</p> <p>中央高速道 飯田インターチェンジから約70分。</p> <p>解散場所： 長野県飯田市南信濃和田 南信濃自治振興センター (電話 0260-34-5111)</p> <p>中央高速道 飯田または松川インターチェンジまで 約1時間。または、兵越峠経由、東名高速道浜松インター チェンジまで、約2時間半。</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き)</p> <p>東京 8:33 ひかり505号 豊橋 9:59 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57</p> <p>下車後 道の駅「遠山郷」まで車で20分 (帰り)</p> <p>旧木沢小学校から平岡駅まで車で30分</p> <p>平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:43 ひかり526号 東京 20:10</p>

< 7. 注意事項、および持ち物など >

- ・ 熱中症対策のため、ペットボトルあるいは水筒、そして風通しのよい帽子をお持ち下さい。
- ・ 農園作業をしますので、汚れてもよい作業着と軍手をお持ちください。長靴は当方で用意します。
- ・ 朝晩冷えることがありますので、念のため、長袖を1着お持ちください。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ 乗り物酔いをご心配の方は、酔い止め薬を服用されることをお勧めします。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

申 込 書

第12回 遠山藤原学校 8月28・29日

ご記入日： 年 月 日

どちらかを選択してください ・ 自家用車でご参加 ・ 電車でご参加

フリガナ	性別	男 ・ 女
お名前	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)		
フリガナ	性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月日
		明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
フリガナ	性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月日
		明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
フリガナ	性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月日
		明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)

■ ご連絡先について

ご自宅 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。

※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。

会社名 学校名等	部署： _____ 役職： _____		
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	(_____) _____	FAX	(_____) _____
携帯電話	緊急時 連絡可・不可		
電子メール	@ _____		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>		

●その他ご希望等ございましたらご記入ください。

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子 〒250-0055 神奈川県小田原市久野849-10
TEL 0465-32-1791 E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先：0465—32—1794 ↑